

ヨハネ 18 黙想質問

「わたしです。」

1 イエスはこれらのことを語り終えて、弟子たちと一緒にケデロン谷の向こうへ行かれた。そこには園があって、イエスは弟子たちと一緒にその中にはいられた。2 イエスを裏切ったユダは、その所をよく知っていた。イエスと弟子たちとがたびたびそこで集まったことがあるからである。3 さてユダは、一隊の兵卒と祭司長やパリサイ人たちの送った下役どもを引き連れ、たいまつやあかりや武器を持って、そこへやってきた。

4 しかしイエスは、自分の身に起ろうとすることをことごとく承知しておられ、進み出て彼らに言われた、「だれを捜しているのか」。5 彼らは「ナザレのイエスを」と答えた。イエスは彼らに言われた、「わたしが、それである」。イエスを裏切ったユダも、彼らと一緒に立っていた。

黙想質問：彼らがイエスを逮捕しに来たとき、イエスはどのような心境でした。

6 イエスが彼らに「わたしが、それである」と言われたとき、彼らはうしろに引きさがって地に倒れた。7 そこでまた彼らに、「だれを捜しているのか」とお尋ねになると、彼らは「ナザレのイエスを」と言った。8 イエスは答えられた、「わたしがそれであると、言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちを去らせてもらいたい」。9 それは、「あなたが与えて下さった人たちの中のひとりも、わたしは失わなかった」とイエスの言われた言葉が、成就するためである。

黙想質問：イエスが「わたしは彼である」と言われたとき、なぜ彼らは後ずさりして地面に倒れたと思いますか。

10 シモン・ペテロは剣を持っていたが、それを抜いて、大祭司の僕に切りかかり、その右の耳を切り落した。その僕の名はマルコスであった。11 すると、イエスはペテロに言われた、「剣をさやに納めなさい。父がわたしに下さった杯は、飲むべきではないか」。

黙想質問：天の父がイエスに与えた「杯」とは何ですか。なぜイエスはそれを喜んで飲まれたのですか。

ヨハネ 18 黙想質問

12 それから一隊の兵卒やその千卒長やユダヤ人の下役どもが、イエスを捕え、縛りあげて、13 まずアンナスのところに引き連れて行った。彼はその年の大祭司カヤパのしゅうとであった。14 カヤパは前に、ひとりの人が民のために死ぬのはよいことだと、ユダヤ人に助言した者であった。

黙想質問：アンナスとカヤパは、誰でしたか。

ヨハネ 18:15-27

大祭司と弱い男

15 シモン・ペテロともうひとりの弟子とが、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いであったので、イエスと一緒に大祭司の中庭にはいった。16 しかし、ペテロは外で戸口に立っていた。すると大祭司の知り合いであるその弟子が、外に出て行って門番の女に話し、ペテロを内に入れてやった。17 すると、この門番の女がペテロに言った、「あなたも、あの人の弟子のひとりではありませんか」。ペテロは「いや、そうではない」と答えた。18 僕や下役どもは、寒い時であったので、炭火をおこし、そこに立ってあたっていた。ペテロもまた彼らに交じり、立ってあたっていた。

黙想質問：なぜペテロは、自分がイエスを知っていることを召使いの娘に言うのを恐れたと思いますか。ペテロの心には何があったのでしょうか。

19 大祭司はイエスに、弟子たちのことやイエスの教のことを尋ねた。20 イエスは答えられた、「わたしはこの世に対して公然と語ってきた。すべてのユダヤ人が集まる会堂や宮で、いつも教えていた。何事も隠れて語ったことはない。21 なぜ、わたしに尋ねるのか。わたしが彼らに語ったことは、それを聞いた人々に尋ねるがよい。わたしの言ったことは、彼らが知っているのだから」。

22 イエスがこう言われると、そこに立っていた下役のひとりが、「大祭司にむかって、そのような答をするのか」と言って、平手でイエスを打った。23 イエスは答えられた、「もしわたしが何か悪いことを言ったのなら、その悪い理由を言いなさい。しかし、正しいことを言ったのなら、なぜわたしを打つのか」。24 それからアンナスは、イエスを縛ったまま大祭司カヤパのところへ送った。

黙想質問：なぜアンナスは、イエスが話したり教えたりするのを聞いた人々に質問しなかったと思いますか。イエスの質問は、アンナスの固い心をどのように明らかにしましたか。

ヨハネ 18 黙想質問

25 シモン・ペテロは、立って火にあたっていた。すると人々が彼に言った、「あなたも、あの人の弟子のひとりではないか」。彼はそれをうち消して、「いや、そうではない」と言った。26 大祭司の僕のひとりで、ペテロに耳を切りおとされた人の親族の者が言った、「あなたが園であの人と一緒にいるのを、わたしは見たではないか」。27 ペテロはまたそれを打ち消した。するとすぐに、鶏が鳴いた。

黙想質問：なぜペテロは剣で人の耳を切り落とすほど勇敢だったのに、後になって恐れおののき、イエスを知っていることを三度も否定したのだと思いますか。

ヨハネ 18:28-32

過越の子羊

28 それから人々は、イエスをカヤバのところから官邸につれて行った。時は夜明けであった。彼らは、けがれを受けないで過越の食事ができるように、官邸にはいらなかった。29 そこで、ピラトは彼らのところに出てきて言った、「あなたがたは、この人に対してどんな訴えを起すのか」。30 彼らはピラトに答えて言った、「もしこの人が悪事をはたらかなかったなら、あなたに引き渡すようなことはしなかったでしょう」。

黙想質問：ユダヤ教の指導者たちは、過越の祭りの間にイエスを殺そうとしました。しかし、彼らはイエスが神の過越の小羊であることが分かっていませんでした。なぜ理解できなかったと思いますか。

31 そこでピラトは彼らに言った、「あなたがたは彼を引き取って、自分たちの律法でさばくがよい」。ユダヤ人らは彼に言った、「わたしたちには、人を死刑にする権限がありません」。32 これは、ご自身がどんな死にかたをしようとしているかを示すために言われたイエスの言葉が、成就するためである。

黙想質問：ヨハネによる福音書のどこで、イエスは十字架につけられる（地上から引き上げられる）と予言されていますか。イエスのご自分の十字架の死が御父の計画であることを知っておられました。この計画を短く説明してください。

ヨハネ 18 黙想質問

ヨハネ 18:33-40

Pilate ピラト

33 さて、ピラトはまた官邸にはいり、イエスを呼び出して言った、「あなたは、ユダヤ人の王であるか」。34 イエスは答えられた、「あなたがそう言うのは、自分の考えからか。それともほかの人々が、わたしのことをあなたにそう言ったのか」。35 ピラトは答えた、「わたしはユダヤ人なのか。あなたの同族や祭司長たちが、あなたをわたしに引き渡したのだ。あなたは、いったい、何をしたのか」。

36 イエスは答えられた、「わたしの国はこの世のものではない。もしわたしの国がこの世のものであれば、わたしに従っている者たちは、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったであろう。しかし事実、わたしの国はこの世のものではない」。

黙想質問：イエスが「わたしの国はこの世のものではない。」と言われた時、どう言う意味で言われたのでしょうか。これでピラトに何を伝えたのでしょうか。イエスの言われた御国とは。

37 そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのだな」。イエスは答えられた、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だけれども真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」。

黙想質問：イエスは言われました。「真理に属する者は皆、わたしの声に耳を傾ける」。なぜこの言葉はピラトにとって、そして現代の人々にとって挑戦的なのでしょうか。

38 ピラトはイエスに言った、「真理とは何か」。こう言って、彼はまたユダヤ人の所に出て行き、彼らに言った、「わたしには、この人になんの罪も見いだせない。39 過越の時には、わたしがあなたがたのために、ひとりの人を許してやるのが、あなたがたのしきたりになっている。ついては、あなたがたは、このユダヤ人の王を許してもらいたいのか」40 すると彼らは、また叫んで「その人ではなく、バラバを」と言った。このバラバは強盗であった。

黙想質問：ピラトが言った「真理とは何ですか」とは、どういう意味だったのでしょうか。ピラトの行動はどのように真理を否定していたのでしょうか。